

公財全高農 農場協会新聞

第4号

発行所
公益財団法人
全国学校農場協会
東京都渋谷区
円山町2-20

生徒の出番だ！
先生も頑張るぞ！

特集号

”生徒の出番だ“

○第17回エッセイコンテスト
○第9回和牛甲子園
○令和7年度

実践総合農学会

連携シンポジウム

第17回全国農業関係高等
学校エッセイコンテスト

第17回エッセイコンテスト審査会が令和7年12月17日に行われた。厳正な審査の結果、応募総数15編の中から、最優秀賞1編、優秀賞3編、佳作3編が決定した。

◎最優秀賞

『横枕の美しい未来を描くために』
佐賀県立唐津南高等学校
3年 奈切 蓮華

◎優秀賞

『ササユリから見つけた地域振興活動』
奈良県立磯城野高等学校
3年 白木原 巧

◎優秀賞

『高校生が発見した新技術「竹粉の菌床栽培」』

長崎県立諫早農業高等学校

3年 赤石 心奈

◎優秀賞

『産業廃棄物ゼロへ向けた研究活動』
長崎県立諫早農業高等学校
3年 黒木 樹里

◎佳作

『農業がうつす自分』
東京都立園芸高等学校
2年 延命 直樹

◎佳作

『米粉が救う、緑豊かな水田』
埼玉県立杉戸農業高等学校
3年 森 彩音

◎佳作

『未来は変えられる』
今こそ農と食について真剣に考え、行動しよう！
群馬県立伊勢崎興陽高等学校
3年 渡辺 智之

第17回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト 講評

日本農林文学会
会長 間山 三郎

日本のプロ野球はほとんど見ないのだが、昨年はドジャーズの試合を見た。私は、中学からサッカーを始めて、今もシニアのチームでボールを蹴っている。そ

ういう人間に、野球の楽しさを教えてくれたのは、大谷翔平選手であり山本投手や佐々木投手のいる、ドジャーズだった。住む世界が違うと言ってしまうとそれまでのだが、投げれば160キロ、バットを振れば場外まで飛ばす、到底まねのできないプレーが、世界中の野球ファンに夢を与えてくれた。その華やかさの裏に、科学的に理論づけられた地道な練習があった。小学生のときから、メジャーリーグの選手を目指す。サッカー界でもプレミアリーグやブンデスリーグを目指すのは、小学生の低学年からだ。

今の日本で農業をやりたいと考えている子供はいるのだろうか。働いている親の姿を見て、憧れるだろうか。親たちは自己の不運を嘆く前に、笑顔で朝を迎え、喜びながら働く姿を子供たちに見せてほしいと思うのだ。

最優秀賞は佐賀県立唐津南高校3年、奈切 蓮華さんの『横枕の美しい未来を描くために』。人口約90人、平均年齢70歳の小さな集落。

人類が直面する問題に応える。それが実学。

温暖化、資源枯渇、食料危機、絶滅危惧種の増加など研究対象は農学を起点に、あなたが想像する以上に広がりを見せています。

このような問題に答えていく学びや研究を在学中に体験することを実学と呼んでいます。

人類が直面する問題に答えていく人材を世の中に還していくことが東京農大の普遍的な使命なのです。



東京農業大学
TOKYO UNIVERSITY OF
AGRICULTURE
〒156-8502 東京都目黒区南1-1-1
https://www.nodai.ac.jp/

農学部

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

生物産業学部



今もサンショウウオが生息している環境を守るために、二つの行動をおこした。二ホンミツバチの自然養蜂と地域住民と一緒に「横枕農園」を立ち上げたこと。その活動が認められ、大阪万博で世界へと広がった。文章もののびと書かれていた。この結果の裏には、並々ならぬ努力があったはずだ。

優秀賞は三作品で最優秀賞にもっとも近かったのは、奈良県立磯城野高校3年、白木原 巧さんの『ササユリから見つけた地域振興活動』。授業で学んだ植物バイオテクノロジーを利用し、奈良県産ササユリの種から開花まで通常6年以上かかるところを、最短3年に短縮の可能性が見えてきた。ササユリを増産することが出来れば、地域振興に貢献できる。ここまでできたのは、科学の力と若い頭脳の中から生まれる発想力だ。

優秀賞の二作品は、長崎県立諫早農業高校3年、赤石 心奈さんの『高校生が発見した新技術「竹粉の菌床栽培」』。社会問題として拡大している「放置竹

林」に取り組んで9年、第12回目のエッセイコンテストでは、最優秀賞取っている。諫早農業高校の伝統が継承されている。今回は、竹の粉末をキノコの菌床栽培に利用、実験の結果、竹粉70%添加すると、収量などに最大の効果があつた。その技術で特許を取得した。ここまで進めたのは、地元農家やJA、専門機関、企業からの協力得ているからであり理想的だ。

三作品は、同じく諫早農業高校3年、黒木 樹里さんの『産業廃棄物ゼロへ向けた研究活動』。産業廃棄物である醤油粕を原料として「からあげ用漬け込みダレを作る」、商品に至るまで企業との連携で、最終的なコスト計算、パッケージの検討後に、地元スーパーや道の駅、インターネットでの販売を開始すると売り上げは、順調に伸びている。この活動でより良い商品を目指し、何度も議論を重ねたという経験が大事なことでと気付いた。

エッセイコンテストの審査委員となり早6年がたつ。エッセイだからもっと軽い

こと、日常の出来事から感じたことなどを、思うが儘に描けばそれでよいのだと思っていたのですが、そういう作品は少ない。どうしてもここに選ばれたた作品のように、現代社会の抱える問題に目を向けて、試行錯誤を繰り返して、あるいは企業と連携し高度な科学技術を活用して、商品を作り販売する。それが、社会問題を解決する一つの方法となる。素晴らしいことなのだが、今やっているのかどうかかわらないが、この「青年の主張」を思い出すのだ。すばらしく立派なことではなくてもよいのではないか。高校生として、悩み苦しんだ思いや、楽しかったことなど、ささやかことを書いて、応募してもよいのではないかと思う。誰もが大会選手を目指さなくて良いのだと、親父に憧れて農業やる、そんな親になリたいと思って生きてきたのだが、私なのだが結果どうだろうか。

第9回 和牛甲子園

令和8年1月15、16日に、

東京都港区（品川グランドホールおよび東京食肉市場）にて開催されました。参加校は、合計25道府県43校、出品頭数は、65頭が出場しました。

総合評価部門 【最優秀賞】 枝肉評価部門 【最優秀賞】



鹿児島県立市来農芸高等学校

◆最優秀指導員賞

實山安英 教諭

○優秀賞 2校

鹿児島県立市来農芸高等学校
鹿児島県立曾於高等学校

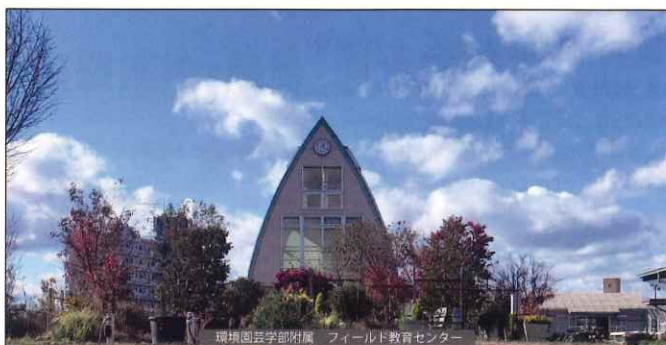
○優良賞 3校

福島県立会津農林高等学校
栃木県立那須拓陽高等学校
愛知県立渥美農業高等学校

◇審査委員特別賞

岐阜県立飛騨高山高等学校

取組評価部門 【最優秀賞】



すべてをつなぐキーワードは「いのち」。

安心・安全・健康な「食」。
地球・環境に配慮した「緑」。
健やかな未来を育む「人」。
宮崎県から、日本の未来を牽引する人材を育成しています。

いのちを学ぶ大学
南九州大学

環境園芸学部 人間発達学部
環境園芸学科 子ども教育学科
宮崎キャンパス 千885-0035 宮崎県都城市立野町 3764-1

健康栄養学部
食品開発科学科 管理栄養学科
宮崎キャンパス 千880-0032 宮崎県宮崎市鶴島5-1-2



広島県立西条農業高等学校

○優秀賞 2校

栃木県立矢板高等学校

岐阜県立加茂農林高等学校

○優良賞 3校

岐阜県立飛騨高山高等学校

宮崎県立高鍋農業高等学校

鹿児島県立市来農芸高等学校

◇審査委員特別賞

岐阜県立大垣養老高等学校

令和7年度 実践総合農学会 連携シンポジウム

会場 東京農業大学サイエンスポート

実践性と問題解決力が素晴らしい高校生の取組

会長 間山 敏幸

2025年12月13日(土)に東京農業大学のサイエンスポートで開催されました実践総合農学会研究成果発表会におきまして、以下の2つ

の高校生の発表が行われました。

個別発表プログラム報告書

群馬県立勢多農林高等学校

令和7年12月13日(土)、

東京農業大学世田谷キャンパスで開催された実践総合農学会に参加させていたいただき、本校養鶏班の3年生1名、1年生2名が、「コケツコ経営で築く！地域と歩む持続可能な畜産のカタチ」と題して研究発表を行いました。

指導講師では、高校生らしい元気のある発表であったことに加え、課題に対する問題意識を持ち、自ら考え答えを導いている点、技術の工夫から開発、商品化へとつなげている一連の流れが明確である点が高く評価されました。質疑応答では、エコフィードの実用化に関する質問のほか、アメリカザリガニ飼料化の研究活動の中で最も印象に残ったことについての質問があり、生徒は自分の言葉で研究への思いを語っていました。緊張しながらも堂々と

発表し、質問にも

前向きに

対応して

いました。

私も指導

する立場

として、

生徒がど

のように考

え、試行錯

誤しながら

研究に向

き合っ

てきたの

かを改め

て知る機

会とな

りました。

このよう

な貴重

な発表の

場を設け

ていた

だき、関

係者の

皆様に

心より

感謝申

上げま

す。

静岡県立磐田農業高等学校

教諭 西尾 真一



東京農業大学のサイエンスポートで開催された実践総合農学会研究成果発表会に参加させていただきまし。本校生産流通科3年生5人が「磐農生とめぐる食と農の魅力旅」つながることは幸せの第一歩」と題して発表をしました。

発表の目標は、磐田農業高校生が企画・運営する、磐田市の魅力的な農家や飲食店を案内する「食と農の魅力旅」によって、誰もが

幸せになるお米の適正価格を考えることです。令和の米騒動でおこった米価高騰から生産者と消費者の価格に対するギャップを感じ、お米の適正価格について疑問を持ったからです。食と農の魅力旅での体験や学習によって、参加者の皆さんが考える適正価格がどのようにに変化するか調べました。1回目の田植え体験後に行ったアンケート調査では3070円(5kg)でした。2回目の生物調査で水田の豊かな生態系を体験するとともに、生産者の努力や必要経費(賃金)を学習した後では、3833円(5kg)に変化したのです。それを生産者に伝えたところ「来年も再来年も消費者に喜ばれる価格と品質でありたい」という考えから必要経費に利益を加えた3600円(5kg)を販売価格としました。その結果、参加者の70%以上の方が購入したこともあり、3600円が適正価格だという内容です。

生産者にとつての適正価格は、必要経費に利益を加えた「再生産をしたいと意欲が湧く価格」。消費者の

適正価格は「納得する価格」だと考えます。消費者が納得するためには、農業の大切さや生産者の現状、未来の地域の在り方等について理解し、考えなければなりません。実際に、食と農の魅力旅によって体験し学んだことによつて、お米を価格だけで判断するのではなく、価値を理解することによつて、適正価格への納得感が高まってきました。持続可能な農業にするためには、適正価格での売買は欠かせません。それを実現するために、食と農を伝える生産者と消費者をつなげる活動が大切なのです。

多くの先生から質問やアドバイスをいただきました。一番印象に残っていることは、この発表を高市早苗首相や鈴木憲和農林水産大臣に聞いてほしいというものでした。この発表は農家と消費者の直接販売であるため、一般



の米の流通経路や販売方法とは異なります。しかし、お互いの幸せや未来の農業について考慮した価格こそが適正価格だということを、国政の責任者に伝えたいと、終了後に生徒たちと話し合いをしました。今回の経験は、生徒の励みになるとともに視野を広げることができました。貴重な発表の機会をいただきまして、誠にありがとうございました。詳細については研究集録(第65号)をご参照ください。

”先生も頑張るぞ“

- ・全国大会
- ・支部大会
- ・農業実験実習講習会

◎令和8年度全国高等学校農場協会第75回全国大会並びに研究協議会

6月3日(木)～6月5日(金)
星陵会館(千代田区永田町)

◎令和8年度

全国高等学校農場協会支部大会《実施計画》

(期日・会場・事務局校)

第30回 北海道支部大会

7月23日(木)～7月24日(金)
ベルクラシック旭川

北海道旭川農業高等学校
第24回 東北支部大会

8月6日(木)～8月7日(金)

ホテルメトロポリタン盛岡
ニューウイング

岩手県立花巻農業高等学校
第75回 関東支部大会

8月17日(月)～8月18日(火)

ホテルブリランテ武蔵野
埼玉県立熊谷農業高等学校

第50回 北信越支部大会

8月6日(木)～8月7日(金)

新潟東映ホテル
新潟県立新発田農業高等学校

第27回 近東支部大会

7月30日(木)～7月31日(金)

奈良春日野国際フォーラム
豊島IRAKA

奈良県立磯城野高等学校

第73回 中国支部大会

8月6日(木)～8月7日(金)

ニューウエルシティ出雲
島根県立出雲農林高等学校

第57回 四国支部大会

8月18日(火)～8月19日(水)

にぎたつ会館
愛媛県立伊予農業高等学校

第72回 九州支部大会

8月20日(木)～8月21日(金)

ホテルニュープラザ久留米
福岡県立浅倉光陽高等学校

◎令和8年度

第70回農業実験実習講習会

申込期日 4月1日(水)～
6月1日(月)

《実施計画》

〔科目・会場・期日・事務局校〕
北海道地区

〔農業経営〕
帯広畜産大学

8月4日(火)～8月6日(木)
北海道帯広農業高等学校

内容「農業の担い手育成を
目的とした授業の指導案作
成他」

東北地区

〔農業と環境〕※
秋田県立大学

8月19日(水)～8月21日(金)
秋田県立金足農農業高等学校

「水稻の育種と品種・高温
に強い水稻栽培他」

関東地区

〔農業と環境〕※
麻布大学

8月3日(月)～8月5日(水)
神奈川県立相原高等学校

「たんばく質の等電点沈殿
によるカゼインの分離他」

北信越地区

〔農業と環境〕※
新潟大学 農学部

8月25日(火)～8月28日(金)
新潟県立高田農業高等学校

「地球温暖化に対応したイ
ネの品種改良他」

近東地区

〔農業と環境〕
大阪公立大学農・獣医学部

8月17日(月)～8月19日(水)
大阪府立農芸高等学校

〔植物工場での野菜生産他〕
四国地区

〔農業と環境〕
高知大学農林海洋科学部

8月3日(月)～8月5日(水)
高知県立高知農業高等学校

「暖地農業に関するフイー
ルドワークを通して、農林
業の今後を考える」

九州地区

〔農業と環境〕※
鹿児島大学 農学部

8月17日(月)～8月19日(水)
鹿児島県立市来農芸高等学校

「講義サツマイモの新しい
栽培方法、実験教育目的の
植物の遺伝子組換え実験他」

※印免許法認定講習1単位
認定科目(予定)

事務局より連絡
免許法(実習助手単位)
認定講習の実施について令
和8年度においても、東京
農業大学において7月下旬
(4日間)で2単位認定科
目が修得できる講習会開催
を予定。詳細は後日お知ら
せいたします。

医療連携・農学・地方創生！

農学部 食農エコロジー学科(仮称)
2027年4月設置構想中*

医療系大学だからできる“食”と“健康”の新しい学び

※ 学部・学科の名称や内容などは予定につき、変更する場合があります。

鍼灸学部 鍼灸学科

保健医療学部 柔道整復学科

看護学部 看護学科

保健医療学部 救急救命学科



明治国際医療大学

〒629-0392

京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1

TEL 0771-72-1231 (農学部設置準備室)

<https://www.meiji-u.ac.jp/>